

(本件に関する照会先)

日本銀行徳島事務所 088-622-3126

2020年6月10日

日本銀行高松支店

徳島事務所

徳島県金融経済概況

1. 概況

- 徳島県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きが続いている。

すなわち、設備投資は増加基調にあるが、先行き、新型コロナウイルス感染症の影響に注意する必要がある。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、大幅に減少した状態が続いている。住宅投資は下げ止まっている。この間、公共投資は増加している。こうした中、企業の生産動向は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きとなっている。労働需給をみると、求人面を中心に、新型コロナウイルス感染症の影響が広がっている。雇用者所得は横ばい圏内の動きとなっている。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、増加基調にあるが、先行き、新型コロナウイルス感染症の影響に注意する必要がある。

3月短観における設備投資（全産業）をみると、2019年度は、前年を上回る見込みとなっている。2020年度は、現時点では、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、大幅に減少した状態が続いている。

大型小売店の売上は、減少している。

乗用車販売は、大幅に減少している。

家電販売は、弱めの動きとなっている。

主要観光地の入込客数（2～4月）は、大幅に減少した。

住宅投資は、下げ止まっている。

公共投資は、増加している。

- 企業の生産動向は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きとなっている。

化学は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械、食料品は、横ばい圏内の動きとなっている。金属製品は、弱めの動きとなっている。はん用・生産用機械は、足もと減少している。パルプ・紙・紙加工品、輸送機械は、大幅に減少している。

- 労働需給をみると、求人面を中心に、新型コロナウイルス感染症の影響が広がっている。雇用者所得は横ばい圏内の動きとなっている。
- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、小幅のマイナスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（4月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。

貸出約定平均金利は、前月比低下した（県内国内銀行ベース、4月末1.229%〈前月末1.239%〉）。

- 預金（4月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。
- 倒産（5月）は、件数は前年と同数となった。負債総額は前年を上回った。信用保証協会の代位弁済（4月）は、前年を上回った。

以 上